

ゆきよし通所リハビリにみる
高次脳機能障害

ゆきよしクリニック 短時間通所リハビリ
作業療法士 山田早織

はじめに

高次脳機能障害とは

脳の損傷により起こる高度な脳の機能の障害
損傷部位や程度によって様々な症状が現れ、残存する

重要なのは・・・

発症後のリハビリテーション
+

過ごしやすく安全な環境を整えること
家族や周囲の支援者の理解

ゆきよし通所リハに高次脳機能障害の利用者さんが来たら・・・
通所リハでどんなことが起こるのか？

高次脳機能障害の症状

認知の障害

- 記憶障害
- 注意障害
- 空間認知障害
- 失語
- 失認
- 失行
- 遂行機能障害
- 病識欠如

行動の障害

社会的行動障害

- 依存性
- 感情コントロール低下
- 対人技能拙劣
- 固執
- 意欲低下
- 抑うつ
- 感情失禁

注意障害

Aさん, 落ち着きがなくて...歩いているとき, 近くに人がいても気づかなくて, ぶつかりそうで危ないです...



注意の持続・分配の障害

注意がそれやすい・集中力がない→注意の**持続**×
1つのことに集中すると他のことに注意を払えない→**分配**×



リハビリ室は人, 器械が多い...→衝突して転倒する危険あり!



通行注意！

対応策

- ・通路を広く確保する 延長コード類の整理
- ・途中で声をかけても気づきにくいいため**動く前に注意を促す**

空間認知障害

Bさん、足台に乗ってベッドに上がるとき、足を台に載せることが上手くできなくて、怖いみたいです...



足台

空間の知覚障害

物との距離感や境目，奥行きがわからない・目測を誤る



ベッドに上がるときに使用する足台
→台の上に上手く足を上げられない，
台を踏み損ねる可能性あり



対応策

- ・台に上がるときは付き添う
- ・床の色と異なる色の台を選び，境目をわかりやすくする

記憶障害

Cさん、何回通所に来ても何をするかわからなくて、混乱するようです。職員の顔も覚えていないみたい・・・

記銘の障害

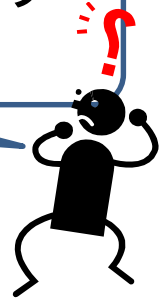
人の顔や名前，作業（日課）が覚えられない



通所リハは職員・利用者が多い，様々な治療プログラムがある
→よくわからない場所で何をするのかわからず，不安になる可能性あり

対応策

- ・プログラムの順番を統一する
- ・通所リハのスケジュール表を渡す
- ・見やすい名札をつける
- ・笑顔で接し，安心感を与える



失語

Dさん、質問しても答えが返ってこないことが多いです
たまたま話しても、何を言っているかがよくわかりません・・・



ことばを話すこと(表出)の障害

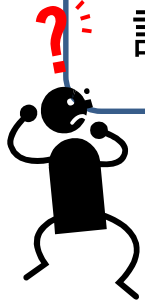
話したいことが頭の中にあっても言葉が出ない＝喚語困難
まちがった言葉が出てしまう＝錯語



対応策

- ・一対一で、話を最後まで聞く
- ・質問するときは、はい・いいえで答えられる形式で聞く
- ・本人が参加しやすい会話で話を引き出す(趣味の話題など)

Eさん、説明するとうなずいているけど、理解していないみたい。
話はすらすら出てくるけど、言っていることがわからないことが多いです



ことばの理解の障害

話はスラスラ出てくるが、まちがった言葉が多い(=錯語)
話の内容を理解していなくても、同調していることも・・・



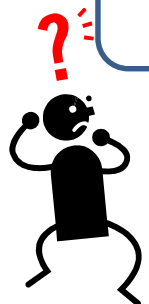
対応策

・「ゆっくり」「短い言葉に区切って」「身ぶり手ぶりを加えて」話す

**表出が難しいのか？理解が難しいのか？どちらも難しいのか？
理解は良いのか？・・・をとらえながら対応する**

社会的行動障害

Fさん、少しでもお待たせすると怒りだしてしまって・・・
暴言を言うこともあるし、他の利用者さんもびっくりしています



感情コントロールの低下

すぐ怒ってしまう 我慢できない 暴言を吐く



通所リハは待ち時間がある
→待っていることができず怒り、
周囲とトラブルになる可能性あり

対応策

- ・怒る前に静かな場所にお連れする
- ・メニューを工夫して気をそらす

Gさん、通所リハビリに来てても全然やる気が起こりません
意欲も低いし、すぐ疲れるみたいです…



意欲低下・抑うつ

意欲が低い 抑うつ気味 覚醒不良 倦怠感が強い



通所リハは運動がメイン→覚醒不良や疲労時は転倒リスクが高い

対応策

- ・開始前に疲労や睡眠・食事量を確認する
- ・明るい雰囲気作り, BGMの工夫



すぐに怒る, やる気がない…
本人の性格だと思いこんでいませんか？

いつも明るく楽しい通所スタッフ♪

おわりに

高次脳機能障害は「目に見えない障害」

高次脳機能障害者は行動をコントロールできず困っている

サービスを提供する側として必要なことは…

「高次脳機能障害について知る」

「できること、できないことを見極める」

そして、「必要以上に制限しない. 過剰な介護を控える」

自由を奪われることがいかに自信と意欲を失わせるかを
常に考えなければならない

**利用者さんの自立を支援し、寄り添う気持ちで
高次脳機能障害の方に関わっていくことが重要！**